



ささのこ

年度末を迎えて ～学校・家庭・地域の絆で子どもたちを守り育てる～

校長 吉田 健二

若いオリンピックの活躍から

今年「スポーツ祭典イヤー」と呼ばれているようですが、その幕開けを飾るミラノ・コルティナ冬期オリンピック大会が今月22日まで行われていました。様々な雪上・氷上の競技で、メダルを目指して熱戦が繰り広げられました。私が特に印象に残ったのは、21世紀生まれの若い選手たちの活躍ぶりでした。競技後のインタビューでは、メダルを獲得した選手だけではなく多くの選手が、自身の結果を肯定的に受け入れるとともに、これまで支えてくれた人々への感謝の言葉や今後の目標をしっかりと語っていました。児童にとっては10歳前後しか年の離れていない若い選手たちの立派な姿を目にしたことで、子どもたち一人一人が、成長への意欲や大人になることへの期待を高めてくれたらよいなと思いました。3月6日からは、同地で、冬期パラリンピック大会が開催されます。こちら、夢の舞台で頑張る選手たちを応援していきたいと思えます。

「地域に開かれた学校」の先を目指して

さて、3学期は短い学期ではありますが、保護者や地域の方々から学校に来てくださり、子どもたちの学校生活を支援して下さる機会が多くありました。1月は「どんど焼き」「漢字検定」、2月は「キャリア教室ドリームプロジェクト(5・6年)」「餅つき会」「昔遊び～わくわく大すきふれあい会～(2年)」「認知症サポーター養成講座(4年)」「昔の笹原を知ろう出前授業(3年)」そして3月1日には、青少年経堂地区委員会主催の「ふれあいドッジボール大会」が行われます。これらの活動には、PTA、おやじの会を始め、保護者、地域の皆様、学校運営委員会、学校支援コーディネーター、学習支援の会、青少年委員会、まちづくりセンター、児童館など、様々な方々からご協力くださっています。年度末を迎えるにあたって、この一年の皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。本校は今後も、子どもたちの学びや成長の場を、学校・家庭・地域の絆で支える体制を強固なもの

にしていきたいと考えておりますので、引き続きご協力のほどお願いいたします。

笹原小は、子どもを中心に、保護者や地域の方々から学校に集う、「地域のコミュニティづくりに貢献できる学校」「コミュニティに幸せを広げる学校」を目指していきたいと考えています。そのためにも、皆様には本校の教育活動・子どもたち・教職員を身近に感じていただければと思えますので、今後も様々な機会にご来校ください。

令和7年度の振り返り

昨年11月にお願した「学校評価アンケート」では、保護者の皆様、地域の皆様多数から、ご協力をいただきました。ご多用の中、アンケートにご協力いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。また、同じ時期に、5・6年生からも児童アンケートに回答してもらいました。今回はその一部をお知らせします。

※数値は肯定率(%)：「Aとても思う」「B思う」の合計

児童アンケート 質問項目	R7	R6	R5
学ぶことが楽しい	76.0	82.2	-
学校行事には達成感がある	86.8	77.2	77.3
学校生活は楽しい	85.3	87.2	79.5
自分の生き方や将来について考える授業がある	66.7	64.3	52.2
私には努力できることがある	93.1	86.4	-
自分のよさや友達のを発見することができる。	88.3	86.4	84.1

表では肯定率をお示ししていますが、各項目に「そう思わない」と感じている児童がいることや、他の項目で肯定率が70%を下回る項目があるのも事実です。全ての児童が充実した学校生活を送れるよう、よりよい学習・生活環境づくりに、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。学校評価アンケートの詳細やアンケート結果を加味した「令和7年度学校関係者評価委員会報告書」は、3月中に本校ホームページに掲載し、すぐるでの配信を行いますので、ぜひご覧ください。

●令和7年度の「重点目標」

- ◇学ぶことを楽しみ、主体的に学び続ける子どもの育成
- ◇人権意識(やさしい心、思いやりの心、多様性を尊重できる心)をもった子どもの育成
- ◇心身ともに健康で、目標に向けて粘り強く努力できる子どもの育成